



# Future of Adoption

フューチャーオブアドプション

## 殺処分ゼロに向けて、 広がる活動。

動物病院を中心とした Veterinary Adoption はこの1年間の活動の中で大きな広がりを見せつつあります。昨年夏頃より、全国の自治体の動物愛護管理センターにもご参加いただくようになり、昨年末には譲渡数500頭を達成いたしました。

今回は、参加自治体のひとつである仙台市動物管理センター「アニマル仙台」での取り組みにフォーカスを当て、皆様にご紹介させていただきます。

Veterinary Adoptionは殺処分ゼロを目指し、今後も全国の自治体をサポート、協力していくことで更にこの活動を広げていきたいと考えています。

### 自治体の課題をサポートする Veterinary Adoption

現在、Veterinary Adoptionに参加されている自治体はまだ少数ですが、多くの里親希望者が閲覧をする当サイトに登録していただくことで、多くの申込みと保護犬・猫の譲渡が成立しています。

自治体では、「なかなか周知できない」「保護犬・猫に関する多くの情報を発信できない」など、今そこにある現場の情報を里親希望者と共有できないことが課題としてあります。

その課題を当サイトの様々な機能をご利用いただくことで解決し、保護犬・猫と里親希望者をつないでいただくことが可能だと考えています。

われわれ共立製薬は動物病院だけではなく、地方自治体とも協力をしながらこれからも活動を広げ、殺処分ゼロを目指していきます。

### 県外譲渡を認めている 動物愛護センターの参加

全国にある多くの動物愛護管理センターでは、譲渡希望者を「県内在住」「市内在住」に限るという決まりを設けています。今回、Veterinary Adoptionに参加していただいた仙台市動物管理センター「アニマル仙台」では、「県外譲渡」を認めている数少ない施設です。

しかし、その事実が里親希望者のところまで届かなければ、譲渡が成立することはありません。

Veterinary Adoptionでは、このような全国の動物愛護管理センターと協力させていただき、多くの里親希望者と自治体の活動をつなげていきたいと考えています。動物病院の先生方にもぜひこのような活動を様々な場面で広げていただくと幸いです。

Future of Adoption 最新情報 2015年2月2日現在

現在の登録数

保護犬



62頭

現在の登録数

保護猫



82頭

これまでの譲渡成立

567件

県外  
譲渡成立  
事例

仙台市動物管理センター

# アニマル仙台「ポコちゃん」「モコちゃん」



今回、県外譲渡が成立した「ポコちゃん」「モコちゃん」。

仙台市動物管理センター「アニマル仙台」と里親になられた藤本様(埼玉県在住)へインタビューを行いました。

INTERVIEW  
インタビュー

## 仙台市動物管理センター「アニマル仙台」

### 今回の譲渡の流れと経緯について

Veterinary Adoptionに掲載していたモコの写真に一目惚れしたということで藤本様から連絡をいただきました。遠方にも拘らずすぐにご来所いただき、譲渡者チェックリストの提出・職員との面談をしていただいた上でモコの譲渡希望を提出いただきました。その際に隣にいたポシャ(現:ポコちゃん)についても、職員やボランティアさんの話を熱心に聞いて下さり、ポシャの譲渡希望も追加で提出いただきました。

先代犬もモコ・ポシャ以上に人馴れしていない状態から愛情を持って最期まで飼われた経験があり、ご家族も多く、何より熱意と温かい愛情を感じるお人柄から、2頭を幸せにいただけるご家庭と判断し譲渡に至りました。

### 県外譲渡を認めていることについて

より良い出会いとより多くの命を繋ぐためには、地域にこだわる理由はないと考え、当センターでは県外譲渡も積極的にを行っています。

### 『Veterinary Adoption』を実際に活用してみた

当センター近郊の希望者には既に譲渡し尽くしてしまった感があり、新規譲渡希望者開拓の新しいツールとして有用と感じております。また、意識の高い方からのお申込みが多く、当センターホームページだけではご縁が得られなかったような方とも出会うことができている。一方で、遠方からのお申込みの方は「動物を輸送してもらえ」と思い込んでいる方も多く、個々への説明がやや負担になる場合もあります。



#### Veterinary Adoptionへの参加理由

サイトのコンセプトに共感し、当所としてもより多くの人々に譲渡活動の取り組みを知っていただき、ご協力いただく必要があると判断しました。

また、熱意のある方は距離や条件にかかわらず保護犬・猫の譲渡を本気で考えてくださる為、より良い家族のもとに送り出せる可能性が広がると考え、すぐに参加を決めました。

#### サイト利用での変化

##### サイト利用で変わったこと

- ・市外からの申込みの増加
- ・これまで譲渡されにくかった保護犬・猫(高齢・人馴れしていない等)にも熱意ある譲渡希望をいただけるようになった。
- ・新しく掲載した際の反応が早くなった。

INTERVIEW  
インタビュー

## 里親になられた藤本様(埼玉県在住)



#### 保護犬を希望した理由

先代犬が亡くなってから犬を見たいという気持ちが大きくなり、ペットショップをよく訪れていました。しかし、まだ2ヶ月くらいの子犬が母犬から離されているのを見るとかわいそうだなと感じることもありました。そこで以前飼っていた先代犬も保護犬だったことから、やはり保護犬の里親になろうという気持ちは更に強くなり、今回の申込みに至りました。

### 『Veterinary Adoption』を知った経緯

去年亡くした愛犬が迷い犬(捨て犬)で我が家に来たので、次に飼う事があったら、同じような境遇である保護犬の里親になろうと家族で話していました。犬の居ない生活にそろそろ限界を感じ、いろいろな里親サイトを順番に見ていました。

### モコちゃん、ポコちゃんに申込みした理由、仙台という遠方での面会への躊躇は?

最初は一匹のつもりで、モコちゃんを見つけ一目惚れです。保護されていたのが宮城県で私の住んでいる埼玉県では引き取りは無理なのかと相談するのをためらっていました。そのうち、他の方がモコちゃんの相談に入られ落胆していると、子供に駄目元で相談してみればと背中を押され申し込んでみました。するとアニマル仙台の方が「一度会いに来てください」と快く返答いただいたので、埼玉県でも受け入れていただけるならと言ってお伺いしました。

### 家に迎え入れてからの2匹の様子

モコちゃんは、ちょっとした家族の動きにとても敏感でビクビクしていて、もうすぐ一ヶ月になりますが、まだ家族に心を開いてくれません。今までどんな飼われ方をしていたんだろうと、悲しくなりますが気長に待とうと思います。でもお散歩は大好きです。外に出た途端に尻尾がピンと上に向いています。逆にポコちゃんは施設の屋外で繋がっていた時は、人を避けるように逃げ惑っていて心配しましたが、モコちゃんよりもすでに家族にも慣れリラックスしています。ブラッシングも嫌がらず、されるがままのおっとりした性格だったのには驚きです。

### 『Veterinary Adoption』をご利用いただいた感想

保護犬のいる近くの保健所に行くのも、どんな子なのかかわからず見た目だけで引き取るのは勇気がいり、簡単に決断できなかったと思いますが、当サイトには一匹ずつ丁寧に紹介されていたので保護犬の引き取りの壁を低くしてもらったと思います。事前にいろいろな検査もしていただき、どんな状態なのかかわかったので安心できとても感謝しております。